

# 立命館 言語文化研究

27巻1号

---

## 目次

2014年度国際言語文化研究所連続講座 西川長夫—業績とその批判的検討

### 第1回「戦後日本文学と国民国家論—廃墟の光を求めて—」

西川長夫『日本の戦後小説—廃墟の光』を考える—文学と戦争責任—…………… 中川成美 (3)

廃墟の光に見られる「暗い絵」—西川長夫先生と野間宏—…………… Brett de Bary (15)

非国民の反国民国家論—坂口安吾の謀叛—…………… 林 淑 美 (23)

野間宏『真空地帯』と国民国家論—国民化される肉体の裂け目—…………… 内藤由直 (35)

### 第2回「国家イデオロギー装置としての大学—そこで研究・教育すること—」

はじめに…………… 高橋秀寿 (51)

国家のイデオロギー装置としての大学—西川長夫と批判的知の可能性—…………… 今野 晃 (53)

「廃墟」としての大学で生きること—国家イデオロギー装置と脱出の回路—… 番匠健一 (65)

### 第3回「韓国における国民国家論」

はじめに…………… 高橋秀寿 (77)

国民国家は「どう」超えられるべきか？

—韓国における西川長夫をめぐる議論を中心に—…………… 金 杭 (79)

ボナパルティズム論から私論へ

—西川長夫の「国民国家論」と植民地朝鮮—…………… 沈 熙燦 (87)

「引揚少年」としての西川長夫と韓国…………… 原 佑介 (103)

### 第4回「国民国家論の越え方」

はじめに…………… 中本真生子 (107)

「国民国家論」と世界史…………… 松塚俊三 (109)

国民国家論と戦後歴史学—「私」論の可能性—…………… 加藤千香子 (125)

国民国家論がたちあがるとき…………… 長 志珠絵 (141)

西川長夫の国民国家論と「移民」…………… 崔 博憲 (147)

### 第5回「〈新〉植民地主義論の射程」

はじめに…………… 西 成彦 (155)

国民国家と植民地主義—最後の海外県マイヨットを手がかりに—…………… 平野千果子 (159)

西川長夫の著作における〈新〉植民地主義のテーマについて…………… 中村隆之 (175)

都市の植民地主義と「棄民」

—寄せ場・野宿の思想と実践からの問い—…………… 原口 剛 (181)

〈新〉植民地主義論という光のもとで「沖縄問題」を考える

—創り出される現場から—…………… 大野光明 (193)

**西川長夫氏へのインタビュー (2011年, 於ソウル)**

パリの68年5月革命と日本／韓国への影響

…………… 聞き手：キム・ウォン (金元), キム・ハン (金杭) / 訳：原佑介 (209)